※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　日本史探究　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史探究は日本の歴史に関わる事柄について、地理や世界の歴史と関連付けながら理解し、現代の日本の課題を探究する科目です。この授業では主として近現代の日本の歴史を取り扱います。日本史探究で大切なことは、歴史総合で身に付けた資質・能力を基に、過去と現在を比較したり、つながりや影響を考えたりすることです。これらを踏まえて学習し、現代日本や世界とのつながりや課題、そして未来について考えていきましょう。

評価は、学習状況の観察、授業プリント・ノート、課題、定期考査、振り返りシートで行います。

2　学習の到達目標

①日本の歴史の展開に関わる諸事象について地理や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、活用できる。
②日本の歴史の展開に関わる諸事象について相互の関連や現代とのつながりなどを考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決に向けて構想したり、説明したり、議論したりする力を身につける。
③日本の歴史の展開に関わる諸事象について主体的に課題を追究し、解決しようとする態度を養い、日本や他国の歴史と文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本の歴史の展開について、世界の歴史と関連付けながら総合的に考察し、各時代の特色や変遷など様々な側面から日本の歴史を大きく捉えて理解している。 ・日本の歴史の展開について写真や地図、文献や絵図、遺物や遺構、統計などの諸資料から有用な情報を適切に読み取り、様々な角度から捉え、効果的に活用している。	・日本の歴史の展開について、歴史に関わるできごとの相互の関連性や現在とのつながりなどに着目し、概念など活用して実証的、多面的、多角的、批判的に考察し、自らの考えを適切に説明、表現している。	・日本の歴史を学ぶ意義に気づき、関心を高め、文化を尊重し、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的に学習に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	近現代の地域・日本と世界	・近代への転換 ・近代国家の形成 ・国際関係の推移と近代産業の発展 ・第一次世界大戦と日本 ・軍部の台頭と戦争の長期化 ・日本の再建 ・経済の発展 ・経済大国とグローバル化	a:開国や幕藩体制の崩壊と新政権の成立から第一次世界大戦や第二次世界大戦を経て、戦後の再出発や現代に至る過程について学習し、歴史的経緯を踏まえて，現代の日本の課題を理解している。 b:近代から現代を通して、その特色について多面的・多角的に考察し，時代を通観する問いを表現している。 c:江戸幕府末期から現代までを通して、その経過について自ら見通しをもって学習に取り組み、主体的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察
	現代の日本の課題の探究	・消費生活と地域社会の変化 ・世界とのかかわりと地域社会の変化 ・行事や祭りと地域社会の変化	a:諸資料を利用し、歴史的経緯を踏まえて，現代の日本の課題を理解している。 b:日本や世界との歴史的関係性やそれ以前の時代の継続や変化について着目し、現代の日本の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本と世界とのかかわりや地域社会の変化を通して、よりよい社会の実現を視野に、主体的に課題を解決しようとしている。	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・定期考査	・授業プリント(ノート) ・課題 ・振り返りシート ・学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度